



# 議会の活性化に向けて

下野市議会議長 松本 賢一

## 議 会 Assembly

新年明けましておめでとうございます。  
輝かしい新春を健やかに迎えたいと  
思っています。

昨年中は、議会の活動に對しまして、市民の皆様のご理解とご支援により、円滑な議会運営ができましたことを心から厚くお礼申し上げます。

さて、下野市が誕生して、今年10年目を迎えます。地方分権は進展し、市当局はもとより市議会の担うべき役割や責任はますます大きなものとなっており、市議会でもこの10年、議会活性化を合言葉にさまざまな改革を進めてまいりました。なかでも大きな改革に「委員会審査方式の導入」、「議会基本条例の制定」の2つがあげられます。

「委員会審査方式」は平成21年12月から導入し、それまで本会議で審議していた議案を専門の常任委員会において審査することとしました。その結果、より効率的で専門性の高い議案審査が可能となりました。

「議会基本条例」は、議員提案により平成25年9月に制定しました。この条例は約1年半にわたり検討を重ね、より開かれた議会を目指すものになりました。定例会での審議結果を皆様にご報告する議会報告会は議員手作りの会となっております。ぜひ足を運んでいただき、市議会を

より身近なものに感じていただければと存じます。

議員定数については、合併当初から3回の見直しにより、昨年5月の改選により定数を削減し18人となりましたが、市政発展のためこれまでに以上を尽力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在、市議会では、「議会活性化特別委員会」を設置し、平成28年5月開庁予定の「新庁舎建設に伴う議場に関する調査」、「議会研修のあり方」、「会派制の導入」、「政務活動費」、「議会基本条例の推進状況」について調査研究しております。今後も議会の活性化に向け、鋭意努力してまいります。

皆様が関心を寄せている新庁舎の進捗状況は、免震対策を終え、いよいよ上部の立ち上げとなります。(仮称)三王山公園整備事業は、平成28年度完成に向け、現在敷地造成工事を行っています。完成後は道の駅しものつくと相乗効果が期待される場所です。また、大松山運動公園拡張整備事業につきましては、平成27年度実施設計に入ります。平成31年度の完成に向け予定どおり順調に進むよう望みます。

さて、話題は変わりますが、下野市では昨年8月に県と市が合同で総合防災訓練を実施し市民の安全に対する意識の高揚を図ったところです。近年では大きな自然災害により、各地に多くの被害が出ました。被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

今年こそは、安心して安全に暮らせる一年となりますことを市民の皆様とともに祈りしたいと思います。

市議会は、市民の皆様のお声を十分にお聴きしながらご期待に応えるべく、さまざまな市政課題の解決に向け議会機能の一層の充実を図り、市民の皆様により「下野市に生まれ育ち、住み続けたい、住んでよかった」と思ってもらえるまちづくりのため、市長を初めとする執行部と一丸となつて努力してまいります。

また、これまで以上に皆様に親しんでいただける開かれた議会を目指すべく、さらなるご理解とご支援を心からよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。